

## 【観光活性化マザーファンド】【沖縄活性化ファンド】 沖縄・読谷村リゾート開発計画に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社が、株式会社 RD 観光ソリューションズ(※1)と共同で運営する「観光活性化マザーファンド」並びに株式会社沖縄活性化ソリューションズ(※2)と共同で運営する「沖縄活性化ファンド」は、星野リゾート(所在地:長野県軽井沢町、代表:星野佳路)が推進中の沖縄・読谷村のリゾート開発計画「読谷リゾート北地区開発計画(仮称)」(以下「本計画」という。)に対し協調投資を実行しましたので、お知らせいたします。

本計画は、サンゴ礁に囲まれた浅く穏やかな海(礁池)が広がる土地の持つ魅力を最大限に活かし、12.5 ヘクタールの敷地に 100 室ある客室全てがオーシャンビューとなる宿泊施設及び飲食施設(以下「当施設」という。)を開発するものであり、当施設開業後は、星野リゾートによる運営を予定しています。

沖縄県の観光客数は国内外ともに近年増加傾向にあり、2017 年は 939 万人と過去最高の入域観光客数となりました。特に、外国人観光客数は 254 万人と前年同期比で 22%の増加となる等、引き続き堅調な観光需要が見込まれます。本件は、沖縄県でのこうした旺盛な観光需要に応えること及び観光資源活用促進のためにリゾートホテルの開発資金調達を支援することは、地域経済及び雇用の中核となる観光産業の活性化に資すると判断できることから両ファンドの取り組み趣旨に合致するものとして、本計画に対して両ファンドで初となる協調投資を実行いたしました。

今後も、両ファンドは、地域金融機関等と協力しながら、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

※1 株式会社 RD 観光ソリューションズは、株式会社日本政策投資銀行並びに株式会社リサ・パートナーズのファンド運営子会社です。

※2 株式会社沖縄活性化ソリューションズは、株式会社リサ・パートナーズのファンド運営子会社です。

【投資先の概要】

計画名称	読谷リゾート北地区開発計画(仮称)
所在地	沖縄県中頭郡読谷村字儀間片江原
開発面積	125,443.32 m <sup>2</sup>
用途	宿泊施設
建物の概要	棟数:53棟(階数:地上2階・地下1階、客室数:100室)
延床面積	14,810.733 m <sup>2</sup> (敷地面積:109,276.87 m <sup>2</sup> )
竣工予定	2019年(開業:2020年予定)

【ファンドの概要】 機構ホームページをご参照ください。

【観光活性化マザーファンド】 <http://www.revic.co.jp/business/fund/01.html>

【沖縄活性化ファンド】 <http://www.revic.co.jp/business/fund/28.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表:TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部:TEL 03-6266-0590

REVIC キャピタル株式会社 那覇事務所

代表:TEL 098-917-6010